ご自由にお持ち帰りくださいったん！

もってって！

えぬたん通信

Ntan

★えぬたん号バスツアー第5巻実施報告

★えぬたんの交通安全啓蒙活動

★気になるあの子もえぬたんについて

★えぬたん主任から緊急予告！

連れていかれるえぬたん

volume.2

FREE

えぬたん潜入取材！？ TSUTAYA BOOKSTORE

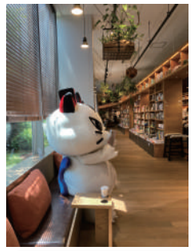
6月某日、えぬたんがココウォークの「TSUTAYA BOOKSTORE」に潜入取材するという情報を極秘ルートで入手した。
前回の取材から、なぜかえぬたんのことが頭から離れない筆者。この胸のモヤモヤを解消すべく、今回も足早にえぬたんの元へと向かった。
「潜入取材」とは名ばかりで、終始えぬたんの満喫タイムにも見えたが … その無邪気な笑顔・目の奥の輝きを目の当たりにした筆者は、あぁやっぱりこのネコが好きなんだと確信した。
えぬたんの体験を元に、えぬたんと筆者の共同レポートとしてここに記録しようと思う。

ネコ本に興奮するえぬたん

(筆)「えぬたん！お久し振りです。なにか発見はありましたか!?」

(え)「あ、おひさ！すごく広くて迷子になりそうったん♪あ、あっちのコーナーがぼくたんを呼んでるからちょっと行ってくるったん！」

ネコ関連の雑誌が陳列してある棚に、迷いもせずに辿り着くとは「さすが」の一言だ。散々目移りしていたようだが、気になる本を3冊選ぶと併設のカフェへ移動。なるほど、勝手は知っている様子。



広々とした店内で堂々と本を読むえぬたん

「1,000坪のリビングルーム」がコンセプトという広々とした店内は、えぬたんが座っていても、少しの違和感も窮屈さも感じさせない。

(え)「素敵な音楽が流れる中、コーヒー飲みながら本読んで…これってぼくたんが憧れていたオトナのリア充ってやつったん？」

目をキラキラさせながらはしゃぐえぬたんを見て、「この場所でえぬたんと同じような気持ちになる子供達がたくさんいるんだろうなー」と、ふとそんなことを感じ、胸が少し熱くなった。

ねこ背に悩むえぬたん

カフェを出たえぬたんは、迷わず雑貨コーナーへ。次から次へと欲しいものを物色する姿は、やはりまだまだ子ネコ。(笑)

現場を凍りつかせたえぬたん

(え)「ふぅ～♪買うもの決まったん♪あの～どなたかエヌタスマネー持ってませんかん？」

!!･･･まさかの展開に現場は一瞬凍りついたが、えぬたんの相棒が現れ一言二言言葉を交わすと、あきらめたのかおとなしく帰っていった。
えぬたんの初めての取材は少々ほろ苦く終わったようだ。

後日、えぬたんからメールが届き「是非これを使ってほしいったん」というメッセージと共に写真が添付されていた。(右写真)
見ると、えぬたん＋えぬたんデザインのゴンドラがうまく収まった見事な1枚だった。
偶然か、はたまた計算か ･･･ いや、この席を確保できた時点でこれは必然の構図なのかもしれない。
1%の運と99%の努力&愛嬌で成り立つというえぬたん(自称)。
この1枚の写真が全てを物語っている気がしてならない。

ゴンドラとえぬたんのベストショット

X　Instagram　Facebook

2024年7月発行

さいごまで読んでくれてありがとうったん

Ntan えぬたん通信

長崎バス・エヌタス合同企画
えぬたん号バスツアー第5巻

6月1日(土)、この日のココウォークバスセンター前は、期待・不安・興奮…様々な感情で入り乱れていた。参加構成も年齢も性別もバラバラの上、ツアーの詳細も明かされていないのだ、仕方がないことかもしれない。だが、ホストであるえぬたんが登場した途端、緊張の糸が解けたかのように、程よい歓声とシャッター音が鳴り響く。さぁここからが「えぬたん号バスツアー第5巻」の始まりだ。

「えぬたん号バスツアー」では、長崎バスの関連施設をはじめ、えぬたんお気に入りの場所を訪れるのが恒例となっているが、ここでは全てを紹介しきれないので、いくつか抜粋してお伝えしたい。

出発前に愛嬌を振りまくえぬたん

今回は、新緑の時期ということもあり、えぬたんお気に入りの「茂木」まで足を延ばす。先回りして、ワクワクしながらえぬたん号を待ち伏せしていると車内からは大きな笑い声が♡後で話を聞くと、車内から見る光景はとてもシュールだったそう。「何はともあれ、楽しそうでうれしかったん」とえぬたん。

茂木の緑のトンネル内で待ち伏せしたえぬたん

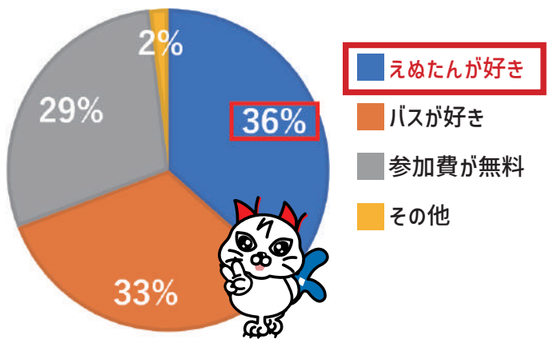
「長崎バスモーターサービス」は非日常体験が出来ると、大人気コースとなっている。バスが軽々と持ち上げられる2柱リフトを間近で見学したり、運転席でちょっとした操作を体験したり、えぬたん号を人の力で押してみたり…。大人も子供もえぬたんも、時間を忘れて楽しんだ。

ツアー終了後のサービスタイム

モーターサービスでのえぬたん

【最後に】
アンケートを集計したえぬたんが、自信満々にこのグラフを見せてきた。僅差では？と一瞬感じたが、複数回答可でほとんどの参加者が「えぬたんが好き」と答えてくれたらしい。えぬたんの励みになったことは言うまでもない。
5巻にして、応募者数は過去最高となり、えぬたんは確かな手応えを感じているようだ。
えぬたん他社員一同は既に6巻に向けて走り出しているという。次回も大いに期待したい。

参加の決め手は何でしたか？（複数回答可）



えぬたんによる夏の交通安全啓蒙活動

手をあげて、安全に横断歩道を渡るえぬたん

夏の交通安全週間が7月13日～19日の期間実施される。年中注意は必要だが、夏休みやレジャーで少し気が緩みがちなこの季節。少しでも注意喚起ができればと、えぬたんは立ち上がった。
例えば横断歩道。歩行者優先だとしても、自身の身を守る為には一旦止まり、手をあげて渡ることが重要だとえぬたんは熱く語る。また、バスや車の前・後方から飛び出す危険行為を体現。歩行者・運転者・傍観者にとっても冷や汗ものシーンだ。安全確認を徹底したい。

バスの後ろから飛び出し危機一髪のえぬたん(演出)

気になるあの子 もるたんについて

以前紹介したモルモットのもるたん。最近出番があまりないようなので、ここで豆知識をご紹介。鎖国時代、オランダ人が長崎に2匹持ち込んだのが始まりと言われているモルモット。その際呼ばれていたオランダ語の「MARMOT（マーモット）」が訛って「モルモット」と いう呼び名になったんだとか。えぬたん曰く、もるたんはこの時長崎に初めてやってきたモルモットのうちの1匹で、多分妖精の一種だろうとのこと（出島で意気投合したらしい）。
一部社内では、もるたんを見る目が少し変わった！ともっぱらの評判になっている。

㈱エヌタスの広報担当えぬたん主任が、衝撃的な内容を明らかにした。
なんと、マスコット界のレジェンドでもあるV・ファーレン長崎の「ヴィヴィくん」と新参者「えぬたん」がタッグを組み、コラボツアーを開催するとのこと。内容は耳を疑うほど豪華なもので、[redacted] などなど…
ファンにとっては、貴重な体験が山盛りの特別な時間になりそうだ。
終始興奮気味のえぬたん主任を見ていると、この企画にかける並々ならぬ覚悟と熱意が伝わってくる。
なお、本企画は有料で、参加人数にも制限がある模様。7月中には応募が開始されるとの見通しだ。SNSのチェックは欠かさないでおこう。
いずれにしても一刻も早い正式発表が待たれる。